

コレクションの20世紀

The 20th Century through the Collection of Nagoya City Art Museum

4月15日[土]ー6月4日[日]

Apr. 15 [Sat.] - Jun. 4 [Sun.]

名古屋市美術館は開館準備の段階から「エコール・ド・パリ」「メキシコ・ルネサンス」「現代の美術」「郷土の美術」という4つの収集方針に基づいてコレクション(収蔵品)を形成してきました。美術作品には時代を超えて伝わる良さとともに、制作された時代の社会や作家の状況を色濃く映し出す一面もあります。開館35周年を迎え、8,000点余に成長したコレクションから収集方針の垣根を越えて約100点を年代順で紹介し、日本および世界の20世紀をふり返ります。歴史の流れの中に名古屋市美術館のコレクションを置いてみた時、いつもの作品がいつもとは違った表情で私たちの前に立ち現われ、過ぎ去りし20世紀への思いを新たにさせてくれることでしょう。



エドワード・ルッジェ(20世紀)1988年 名古屋市美術館蔵 ©Ed Ruscha

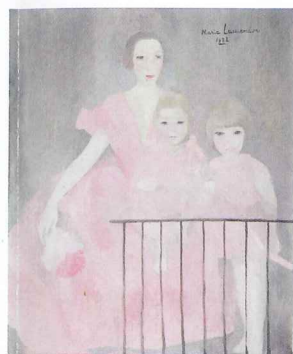
マリー・ローランサンとモード

Marie Laurencin et la mode

6月24日[土]ー9月3日[日]

Jul. 24 [Sat.] - Sep. 3 [Sun.]

二つの世界大戦に挟まれた1920年代のパリ。それは様々な才能がジャンルを超えて交錯し、類まれな果実を生み出した、奇跡のような空間でした。ともに1883年に生まれたマリー・ローランサンとガブリエル(ココ)・シャネルの二人は、その自由な時代を生きる女性たちの代表ともいえる存在です。本展では二人の活躍を軸に、ポール・ボワレ、ジャン・コクトー、マン・レイ、ジャンヌ・ランバンなど時代を彩った人々との関係にも触れながら、美術とファッションがお互いの境界を越えてダイナミックに展開していく様子を辿ります。



マリー・ローランサン(ニコル・グルーと二人の娘、プワットとマリオン) 1922年 油彩・キャンバス マリー・ローランサン美術館蔵 ©Musée Marie Laurencin

福田美蘭ー美術って、なに?

FUKUDA MIRAN-What is Art?

9月23日[土・祝]ー11月19日[日]

Sep. 23 [Sat. / public holiday] - Nov. 19 [Sun.]

中部地方では初となる現代美術家・福田美蘭の個展です。福田美蘭は、東京藝術大学大学院を修了後、具象絵画の登竜門とされる安井賞を最年少で受賞し、国内外で活躍を続けています。同時代の社会が抱える問題や、古今東西の名画を題材に、固定観念を覆すような鋭い視点で、ときにユーモアを添えて表現します。本展では、1980年代から近年までの作品を紹介するとともに、名古屋市美術館の所蔵作品から着想した新作も展示予定。深い洞察力をもって絵画の可能性を追求し、美術ってなんだろう?と問いかける数々の作品は、私たちの思考を刺激し、混沌とした現代を生き抜く知恵とエネルギーを与えてくれます。福田美蘭の世界を、どうぞお楽しみください。



福田美蘭(ブッシュ大統領に話しかけるキリスト)2002年 パネルにアクリル絵具 新潟県立近代美術館・万代島美術館蔵

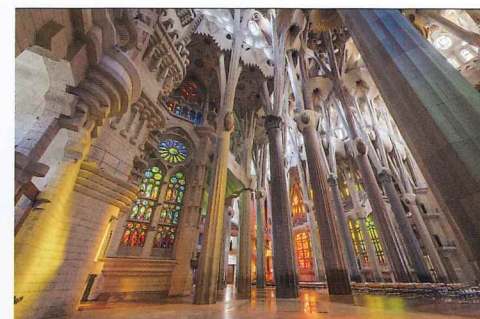
ガウディとサグラダ・ファミリア展

Gaudi and the Sagrada Familia

12月19日[火]ー3月10日[日]

Dec. 19 [Tue.] - Mar. 10 [Sun.]

スペインが生んだ建築家の奇才アントニ・ガウディ(1852-1926)。代表作の一つ、サグラダ・ファミリアは、長らく「未完の聖堂」と言われてきましたが、いよいよ完成の時期が見えてきました。本展では、サグラダ・ファミリアを中心に、ガウディの建築思想や独自の制作過程を紹介します。さらに多彩色のタイル被覆や家具、鉄細工装飾、彫刻も合わせた総合芸術志向にも注目します。最新の技術で撮影された建築映像を含め、図面・模型・写真など100点を超える資料から、今も人々を魅了し、さまざまな芸術分野に影響を与え続けるガウディ建築の魅力に迫ります。



サグラダ・ファミリア内観 ©Fundación Junta Constructora del Temple Expiatori de la Sagrada Família

特集 Special Exhibition from the Collection

開館35周年事業 猛獣画廊壁画修復プロジェクト

Restoration Project on Mural Paintings for Higashiyama Zoo

4月15日[土]ー6月4日[日]

Apr. 15 [Sat.] - Jun. 4 [Sun.]

6月24日[土]ー9月3日[日]

Jul. 24 [Sat.] - Sep. 3 [Sun.]

9月23日[土・祝]ー11月19日[日]

Sep. 23 [Sat. / public holiday] - Nov. 19 [Sun.]

12月19日[火]ー3月10日[日] 修復完了報告展(会期は予定)

Dec. 19 [Tue.] - Mar. 10 [Sun.]

第2次世界大戦中に動物を失った東山動物園では、1948年に「猛獣画廊壁画」3枚が制作され、動物に代わり多くの人を迎えました。描いたのは、太田三郎、水谷清、宮本三郎。ライオンやヒョウといった動物が見られず、寂しい思いをしている子どもたちのために、横幅5メートルの大画面に「北極・南極」「南方熱帯」「アフリカ」に暮らす動物の姿を描きました。



水谷清(東山動物園猛獣画廊壁画No.2)1948年 名古屋市美術館蔵

壁画は1997年に当館に収蔵されましたが、当初から修復が必要な状態でした。昨年度、皆様のご支援により、これら貴重な文化財である壁画の修復プロジェクトを開始し、修復に向けての調査の様子を公開しました。今年度は、展示室で修復作業を行い、その様子をご覧いただけます。修復完了後は、壁画3枚を一室に展示します。

修復は、愛知県立芸術大学に依頼し、修復の専門家、また近隣地域で文化財の修復や保護等について学ぶ学生、研究者によるチームによって行われています。展示室期間中には、スタッフによる子ども向けのイベントや修復完了説明会を予定しています。

修復作業日程やイベントの詳細は、美術館公式ウェブサイトでご案内します。



太田三郎(東山動物園猛獣画廊壁画No.1)修復の様子 (2022年12月ー2023年2月実施)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
企画展示室 1・2	4/15 特別展 コレクションの20世紀		6/4 特別展 マリー・ローランサンとモード		9/3 特別展 福田美蘭ー美術って、なに?		11/19 特別展 ガウディとサグラダ・ファミリア展		12/19 特別展 ガウディとサグラダ・ファミリア展		3/10 特別展 ガウディとサグラダ・ファミリア展	
常設展示室1	4/15 常設展 名品コレクション展Ⅰ ●エコール・ド・パリ:物語と挿絵-ジャガール(寓話)より ●メキシコ・ルネサンス:ホセ・ガダル-ベボサダ-生の教訓、死の隠喩 ●現代の美術:現代の空間表現		6/4 常設展 名品コレクション展Ⅱ(前期) ●エコール・ド・パリ:道が示すもの ●メキシコ・ルネサンス:生と死-ブラボーの写真から ●現代の美術:金属の様相		9/3 常設展 名品コレクション展Ⅱ(後期)		11/19 常設展 名品コレクション展Ⅲ ●エコール・ド・パリ:海老原喜之助とパリ ●メキシコ・ルネサンス:シケイロス没後50年 ●現代の美術:Woman-(私)の物語		12/19 常設展 名品コレクション展Ⅲ		3/10 常設展 名品コレクション展Ⅲ	
常設展示室2	4/15 郷土の美術:星野真吾生誕100年		6/4 郷土の美術:サンサシオン100年 若き情熱ほとばしる名古屋 1923-33		9/3 郷土の美術:サンサシオン100年 若き情熱ほとばしる名古屋 1923-33		11/19 郷土の美術:抵抗と模索-学生写真運動の展開		12/19 郷土の美術:抵抗と模索-学生写真運動の展開		3/10 郷土の美術:抵抗と模索-学生写真運動の展開	
常設展示室3	4/15 特集 開館35周年事業 猛獣画廊壁画修復プロジェクト		6/4 特集 開館35周年事業 猛獣画廊壁画修復プロジェクト		9/3 特集 開館35周年事業 猛獣画廊壁画修復プロジェクト		11/19 特集 開館35周年事業 猛獣画廊壁画修復プロジェクト		12/19 特集 開館35周年事業 猛獣画廊壁画修復プロジェクト		3/10 特集 開館35周年事業 猛獣画廊壁画修復プロジェクト修復完了報告展(会期は予定)	
講堂			●8/26 教育普及事業 コレクション解析学 鬼頭鍋三郎(舞妓六選)		●11/11 教育普及事業 コレクション解析学 中村宏(イカルス)		●2/24 教育普及事業 コレクション解析学 全日本学生写真連盟資料					

※特別展、常設展、特集、教育普及事業の会期、名称及び内容は、都合により変更されることがありますので、ご了承ください。

広告募集

①

広告募集

②

広告募集

③

広告募集

④